



2015(平成27)年7月号

## 縁起

「縁起」この言葉は、日常生活の中でよく耳にしますね。では、どんな時に使うでしょうか? 「縁起が良い・悪い」または、「縁起を担ぐ」というような使い方もあります。

これは、物事の吉凶の前兆やきざしといった意味合いで使われているのですが、そもそもこれはお釈迦さまの説かれた大切な教えなのです。

お釈迦さまは、さとりを開かれた後45年間にわたりさまざまな教えを説かれましたが、その教えの根本が縁起だといわれています。

お釈迦さまは、人が生まれ、老い、病み、やがて死にいたるといふ苦しみの原因を、時間をさかのぼって探って観察し、それは人間の欲望や愚かさによって生み出されるものだと思われ、それらを智慧により解放する道をお示しになりました。

その後、仏教が日本へと伝来するなかで、時間的なつながりと互いの存在がつながり合っていくことを集約させて「縁起」が「縁」「ご縁」という言葉に発展していったのです。

「縁起」または「ご縁」という言葉が日常的に使われるようになっていった日本において、多くのご縁によって生かされているという見方が培われてきたのです。

そして、親鸞聖人は「遠く宿縁を慶べ」というお言葉を述べられました。仏法に出会い、阿弥陀さまのみに導かれる身となつたことを遠い過去からのはかり知れない「ご縁」によって与えられ導かれてきたと慶ばれること、すなわち「縁起」の理念をもとに「ご縁」を慶ばれているのです。

さらに、親鸞聖人は阿弥陀さまの救いを「弘誓(くげい)の強縁(ごうえん)」と讃えられ、正信偈の中に「光明名号顕因縁」とあるように、阿弥陀さまのはたらきが私たちの救いの「因」であり縁である」とお示しになりました。私たちへの救いのすべてが阿弥陀さまからの他力のはたらきであると仰せになったのです。



さて先日、徳島県の本願寺派の僧侶が女性殺害の容疑で逮捕され、とうとう大変痛ましい事件がありました。動機について詳細は明らかにされておりませんが、相手に対し強い恨みを持ち、犯行に及んだとされています。

さらに中央仏教学院生が大麻取締法違反の容疑で逮捕、元本願寺職員が業務上詐欺の容疑で逮捕と立て続けに本宗門内において世間を騒がす事件が起こってしまいました。

このような事態に強い憤りを感じつつも、親鸞聖人のお言葉が頭をよぎります。それが、「さるべき業縁もよおさば、いかなるふるまいをいたすべし」です。これは「因」と「縁」を整えば、人間はどんなことでもしてしまふ。それが人を殺めることだとしても：親鸞聖人は深く自己凝視をされ、重いお言葉を残されました。

私はそんなことは決してしないと、言い切れない因縁が有ることを真摯に受けとめながら、ご縁によって生かされているという真実の教えを根底にした、自他ともに心豊かに生きることを目指していききたいものです。

# 仏事あれこれ

## 一口法話

6月21日午後9時36分、我が家に第2子となる長男が誕生いたしました。予定日は2日後の23日でしたが、21日の夜に妻が破水し、緊急入院となり、帝王切開の後2414gとやや小さいながらも無事に誕生した次第です。

思い返せば、第1子の長女（4歳）の出産の時は大変でした。といっても私が大変だった訳ではなく、妻が大変だったのです：

初産ということもあったのか、妊娠中は安定期と思われる時期がほとんどなく、医師から胎盤剥離という診断がなされ、ほとんど病院で寝たきりの状態でした。そして、30週（約8カ月）という早産で誕生し、その時の体重は僅か984gでした。（誕生時、1000gに満たなかった場合、超低出生体重児と言われます。）1カ月半ほどNICU（新生児集中管理室）に入れられ、医師の方々にサポートしていただき、無事に退院することができたのです。

現在では毎日元気に幼稚園へ行き、

私に対しても「お父さんはお酒臭いからいやだ！」と憎まれ口を言うようになりまし。この度第2子の誕生に伴い、親としての自覚・責任をさらに持たなくてはと思うのですが、長続きするかどうかは疑問です。

さて、阿弥陀さまのおはたらきを親のはたらきに喩えられることがあります。私たち人間の親は、どうしても自分の都合で子どもを叱ってしまうことがあります。親は子に対し、こんな子に育ってほしいという願いで躰をしているつもりが、かえって願いは逆の方向に進んでしまうこともあるのではないのでしょうか。

阿弥陀さまのおはたらきは、無明煩惱の闇で、もがき苦しむ私たちを決して見捨てはしないぞと「南無阿弥陀仏」となって呼びかけてくださいます。

これこそ、阿弥陀さまが久遠劫というはるか遠い昔からの親さまであるという所以なのです。



安邊家第2子の長男です。名前は次号で紹介します。

## 仏事のQ&A

Q. 法事は何回忌までお勤めする？

A. 仏教では、あくまで「私のため」の法事です。つまり、今こうして生かされているいのちの尊さを、亡き人を偲びつつ味わわせていただくのです。生前ともに生活をした故人であれば、その遺徳を偲び、また遠い先祖の方であっても、そうした方々のおかげで私のいのちがあり、何よりも尊い仏法を伝えてくださったとよろこぶのです。

ですから「●回忌でお願いします」ではありません。故人を起点に考えるのではなく、私を起点に、生きている限り勤めて、仏縁を持つてください。仏事は継続することが大切なのです。

『新・仏事のイロハ』より抜粋

### 平成27年 年回法要表

年忌法要	死亡年
1周忌	平成26年
3回忌	平成25年
7回忌	平成21年
13回忌	平成15年
17回忌	平成11年
23回忌	平成5年
27回忌	平成元年 昭和64年
33回忌	昭和58年
37回忌	昭和54年
50回忌	昭和41年

# 6月行事の様子

## ★宗祖降誕会 6月6日(土)

13:00より法要をお勤めし、ご講師の法話、奉講会総会の開催、  
新旧主管の歓送迎会を行い、約50名の皆さまにお参りいただきました。

### 宗祖降誕会法要(楽入り)



### 奉講会総会



### 新旧主管歓送迎会

↓ご講師の  
毛利祥真先生



↑ 横田裕晃 前主管とご家族の皆さま  
現在は千葉県の大願寺でご活躍されています。  
一度お参りさせていただきたいですね。



↑ 6月のお誕生日  
おめでとうございます。  
(ちなみに主管の誕生日でも  
ありました。)

## ★キッズサンガ子ども会 6月20日(土)

親鸞聖人のご生涯をすごろくで学ぼう!というコンセプトで楽しみました。  
6名の子ども達が集まってくれました。



↑  はやめて!と願いを込めて  
サイコロを振っています。



↑ マスに止まって  
聖人のご生涯を  
朗読しました。

## ▶ 7月の行事予定

### 常例法座

7月12日(日) 午後1時～

ご講師 倉上 学法師  
(東京都 正法寺)  
お気軽にお参りください。



### 親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

7月16日(木) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか?  
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

## ▶ 8月の行事予定

### キッズサンガー泊サマースクール

8月1日(土) 午後2時～  
2日(日) 午前11時まで

お寺でたくさんのお友だちと泊まって、ゲームや  
花火、仏さまのお話を聞く一泊サマースクールを  
開催します。(詳細は同封のチラシをご覧ください。)

### 盂蘭盆会・永代経法要

8月9日(日) 午後1時～

ご講師 山田 義俊 師  
(東京都 林光寺)



### 納涼懇親会

8月9日(日) 午後3時～

伝統的な仏教行事であるお盆の法要に是非お参り  
ください。また、ご自宅へのお参りもいたしますので、  
当会館へご連絡ください。

発行日 2015年7月1日 第231号

発行者 安邊 泰教

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電話 042-474-6787

東久留米会館会報 「ともしび」

### 編集後記

梅雨らしくジメジメとした日が続いて  
いますね。こんな時こそ、風呂あがりにさ  
っぱりして飲むビールは格別です。しかし  
これが娘に嫌われる原因のような…(安)

### お詫びと訂正

先月(230号) 1P 「降誕会」の読み  
仮名に誤りがありました。お詫びして訂正  
いたします。

【誤】「ごんたんえ」↓【正】「ごうたんえ」

### ありがとうございます。ありがとうございました。

村中秀行様(清酒)

### 今月のお供物のご進納

降誕会準備のお手伝い

大嶋 弘様 神谷正弘様 神谷玲子様

菅野ヨシコ様 西ユリ子様 森澤忠和様

高田テルハ様